



岩手県県北家畜保健衛生所
岩手県北家畜衛生協議会

目次

巻頭言	… 1
体制紹介	… 2
牛サルモネラ症が発生しました	… 3
鳥インフルエンザ侵入防止の備えを	… 4
令和7年度予防注射料金	… 5



巻頭言

所長 宮崎 大

日頃から家畜防疫、衛生対策に御理解、御協力賜り感謝申し上げます。さて、昨年度は、令和6年5月28日に洋野町において県内初となる豚熱が発生、同年6月20日20,000頭余の殺処分を含む防疫措置が完了しました。

また、高病原性鳥インフルエンザについても、令和7年1月に盛岡市で4例、軽米町で1例の発生が相次いであり、盛岡市の事例では合計約1,190,000羽、軽米町の事例では約48,000羽が殺処分され同年2月22日に全例の移動制限が解除されました。

両例とも、養豚・養鶏経営体、市町村及び関係機関・団体の皆様の御協力のもと円滑に防疫措置が進められ、現在まで、続発は確認されておられません。これも偏に皆様の御尽力の賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

しかしながら、県内の野生いのししにおける豚熱ウイルス陽性事例やアジア諸国における「口蹄疫」、「高病原性鳥インフルエンザ」及び「アフリカ豚熱」の発生は現在も継続しており、これら家畜伝染病の侵入リスクは依然と

して高い状況です。生産者の皆様にあっては、農場への侵入防止対策の再確認及び飼養衛生管理基準の遵守、異常家畜の早期発見・通報など、防疫対策の徹底を引き続きお願いします。

また、万が一発生した場合の迅速かつ適切な防疫対応の推進には、市町村、関係機関・団体等との連携が必要不可欠です。平時からの準備や有事の際の従前同様の御理解、御協力について、あ



岩手県獣医師会二戸支部 動物ふれあい写真展 R7 最優秀賞「もぐもぐ親子」 撮影：小澤大地

らためてお願いいたします。

畜産をめぐる情勢は依然厳しく、飼料及び資機材の価格は高止まり、加えて、高温や少雨による農作物や牧草等の生育にも支障がでている状況で、これは、畜産農家のみならず、国民の日常生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。

当所の役割は、畜産農家が安全で高品質な畜産物の生産により安定した経営が展開できるよう、最新の家畜衛生の知識と専門技術を駆使し、家畜の伝染性疾病の予防やまん延防止に努めるとともに、畜産物の安全を確保し、慢性疾病等の対策により生産性向上を支援することです。

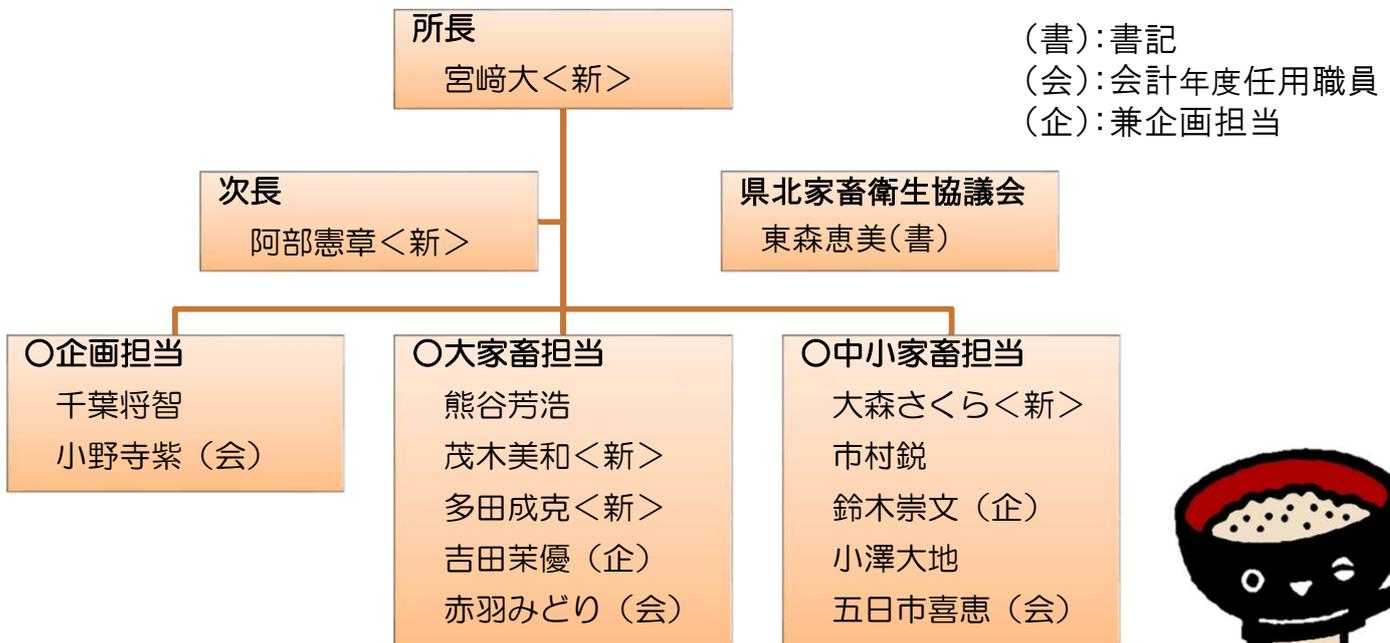
獣医師として、日々、科学的な知見・技術の習得、専門技術の研鑽に勤しみ、顧客のニーズに対する確かなサービスを提供するとともに、関係者と一丸となった高い防疫水準の維持や生産性向上対策の支援に努めて参ります。

なお、県北家畜衛生協議会では、協議会事業として各種ワクチン接種等による生産性向上対策に引き続き取組んで参りますので、ワクチン接種等の普及啓発にも御協力くださるよう併せてお願い申し上げます。



2025 二戸まつり 流し踊り

体制紹介



牛サルモネラ症が発生しました

管内酪農場において、令和7年8月にサルモネラ症が発生しました。

発生状況

約70頭を飼養している酪農場において、8月中旬に成牛1頭が発熱及び血便を発症。その翌日以降、7頭が相次いで発熱と下痢を呈しました。



当所の検査結果とその後の対応

発症牛の糞便から *Salmonella* Typhimurium [4:i:-] が分離され、牛サルモネラ症と診断しました。その後の全頭検査では、69頭中37頭から同属菌が分離されました。

対策として、全頭へのワクチン接種、発症牛及び菌陽性牛への抗生物質の投与、生菌剤の飼料添加及び、当該牛舎の消石灰と逆性石鹼による消毒を実施しました。結果、2週間後の検査では、菌陽性牛が9頭に減少しました。

清浄化達成に向けて、引き続き検査と対策を継続していきます。



病牛の早期発見と治療・発生予防

サルモネラ症は、季節の変わり目に発症することが多く、最悪の場合死亡することもあります。それだけでなく、終息まで数か月を要し、飼養者の皆様へ大きな経済的損失をもたらします。令和6年8～9月にも管内酪農場で2件発生があり、清浄化まで約3か月を要しました。

サルモネラ症などの伝染病による被害を最小限に止めるためには、病牛の早期発見と適切な治療が重要です。

また、発生予防のために農場への病原菌侵入防止(防鳥ネットの設置、野生動物の侵入防止)と牛の発症予防(定期的な畜舎・飼槽の清掃と消毒、子牛への確実な初乳給与、成牛への良質な粗飼料給与等)を徹底しましょう!

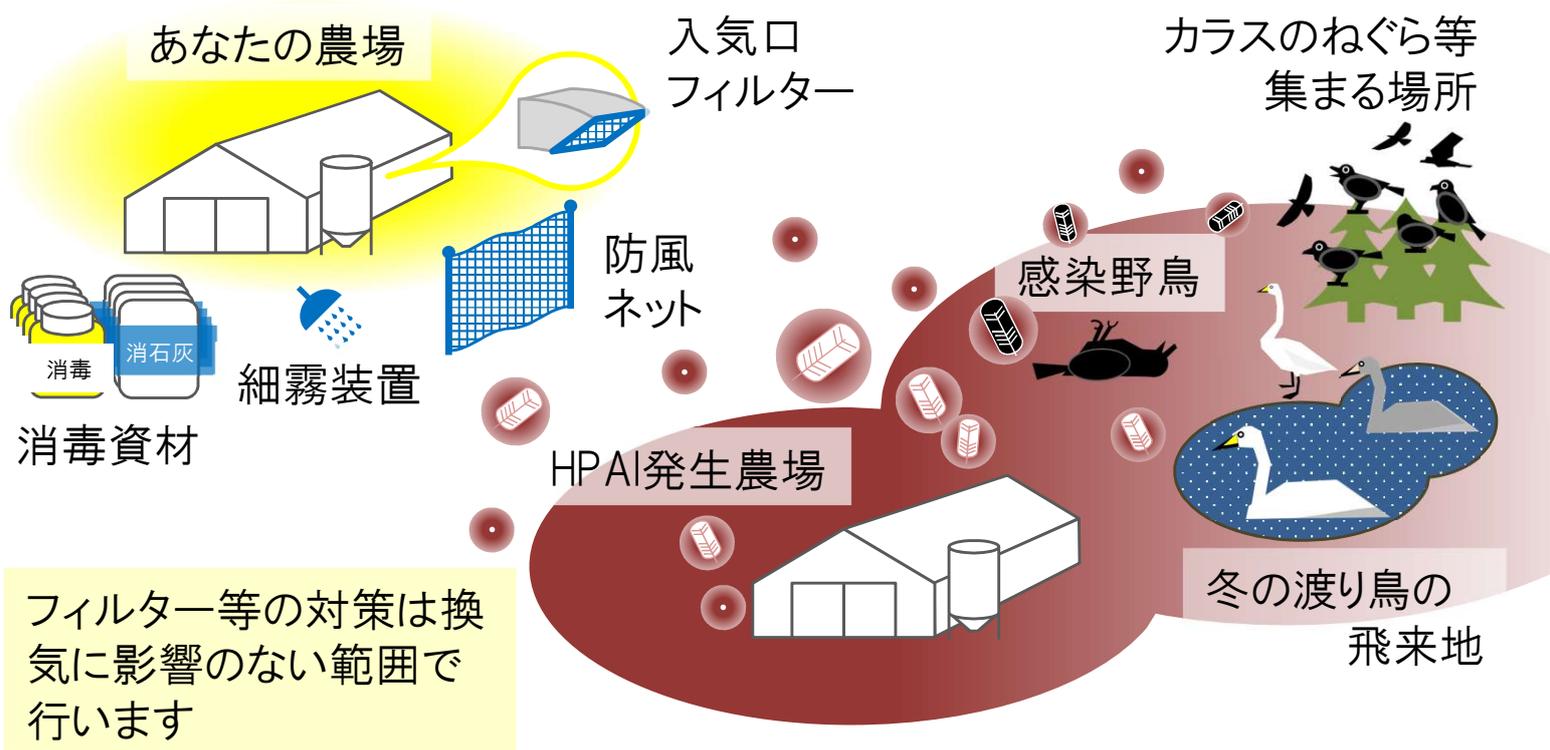
鳥インフルエンザ侵入防止の備えを

近隣地域での発生を想定した鳥インフルエンザの発生対策強化

令和6年度シーズンは、全国の養鶏場で51事例の高病原性鳥インフルエンザ(以下HPAI)の発生があり、本県でも5事例の発生がありました。

関東の養鶏場密集地域では、入気口付近で鶏が死亡していた例が散見され、乾燥した環境下でホコリに付着したウイルスが入気口から侵入した可能性が指摘されています。

今シーズンもHPAIの発生が心配されます。近隣地域での発生を想定し、消毒資材の備蓄や、ホコリ対策(入気口フィルター、防風ネット、細霧装置など)の準備を行いましょ。



【飼養衛生管理基準】が改正されます(R7.10.1改正予定)

主な改正点は以下のとおりです。

- ・大規模農場(20万羽以上)での分割管理導入の検討。
入気に対するホコリ対策の実施(R8.10.1施行)。
- ・養鶏場密集地域の農場における消毒資材やホコリ対策資材の準備。周辺の野鳥生息状況の把握及び誘引防止策の実施(R8.1.1施行)。

令和7年度予防注射料金

事業名	ワクチン	生産者負担金	獣医師技術料
岩手県 畜産協会 受託事業	アカバネ病(生)	2,000	605
	牛五種混合(生)	2,260	605
	牛五種混合(不活化)ポビバックB5	2,010	605
	牛六種混合(生、不活化) キャトルウィン-6	2,460	605
	牛六種混合(生)カーフウィン6	2,450	605
	牛ヘモフィルス(不活化)	1,380	605
	豚丹毒(生)	169	103
	豚丹毒(不活化) 日生研豚丹毒不活化ワクチン【シード】	175	103
	豚丹毒(不活化) スワイバックERA(共立)	175	103
	豚丹毒(不活化) ポーシリスERY(MSD)	198	103
	独自事業	牛クロストリジウム五種混合(不活化) キャトルウィンCI5	1,550
ティーエスブイ3		1,590	605※
牛下痢5種混合不活化ワクチン		2,300	605※

お問い合わせは、岩手県北家畜衛生協議会まで

(消費税10%を含む)
※R7.4.1付けで改定

《発行元・問い合わせ先》

岩手県北家畜保健衛生所 電話：0195(49)3006

FAX：0195(49)3008

岩手県北家畜衛生協議会 電話：0195(49)3040

